

3年ぶり

実開催 第58回通常総会



正組合員 483名
 本人出席 128名
 議決権行使書提出 189名
 代理人出席 53名
 計 370名

過半数以上出席のため通常総会成立

準組合員出席者 6名

舞台上に掲げられた 4つのスローガン

「飛馬りんご高品質安定生産で、ブランド力を発揮させよう」
 「労働力不足の対策に取り組み、農業生産の拡大をはかろう」
 「自己資本の増強に努め、財務と経営の健全性を維持しよう」
 「自己改革をすすめ、所得増大と地域の活性化に貢献しよう」

9月22日、当JAは弘前市中央公民館相馬館において第58回通常総会を開催した。組合員を集めて開催する総会は実に3年ぶりとなったが、100名を超える正組合員が出席し、剰余金処分案や令和4年度事業計画、経営・振興ニカ年計画、役員選任議案など全7議案が原案通り可決承認された。

組合員が見守る中、挨拶で大場勉組合長は「令和3年産リンゴについて前年比81%の数量減であったものの単価高となり、販売総額44億5千万円となった」としながら、6月精算後には約4千万の追加精算ができたと報告した。

令和3年度決算については当期未処分剰余金1億9,378万円（内当期剰余金1億4,378万円、当期首繰越剰余金5千万円）となった。剰余金処分案として、出資配当に609万円、事業分量配当に6,139万円の合計6,748万



議長を務めた五所地区山内芳宏さん
 明朗な声でスムーズな議事進行をされた

円を組合員へ還元する。

役員選任では県内初の青年枠を設けたほか、女性枠も設けた。

今次からの3ヶ年計画ではリンゴ生産量の維持が最優先課題。そのために補助労働力の確保・育成に取り組み、継続的な労働力の創出方法を模索するとともに、情報通信技術の活用に努めることや、ブランド力の維持・発展を図るとともに、スマートフレッシュの活用を進めていく。

青年枠と女性枠を新設

幅広い意見を
農協経営へ活かす

常勤理事



理事金融共済部長
山内 利彦



専務理事
三上 隆基



代表理事組合長
大場 勉

非常勤理事



理事
総務委員長
花田 敏幸



理事
経済委員長
花田 勇人



理事
溝江 翼



理事
田澤 真由美



理事
田澤 俊明

監事



員外監事
岩谷 健



監事
山内 知人



代表監事
藤田 伸

役員紹介

田澤 俊明 理事



経歴

- 昭和53年3月
・就農
- 平成15年7月
・りんご評価員・経営振興委員など歴任
- 平成31年2月
・当JA果樹産地強化プロジェクトメンバー



飛馬ふじ剪定会で講師を務める田澤理事

各品種で系統を良くしたり、そのために剪定講習会をやったりなど、相馬でしかできないりんご作りを模索しブランドりんごの強化に取り組みます。環境整備と人材育成の両方を強化し進めていきたいです。

田澤 真由美 理事



経歴

- 平成24年4月
・女性部入部
- 令和3年2月
・女性部部长に就任
- 令和3年4月
・青森県JA女性組織協議会理事就任



地域の小学生をサポートする田澤理事

将来、女性が声を上げやすく、また意見を柔軟に取り入れられるJAになるよう、その道筋作りに取り組んでいきたいです。県JA女性組織協議会の理事になったことで横の繋がりができ、様々な情報がきけるようになったため、人と関わっていくことの大事さを感じています。JAそのものの仕組みが農家からは分からないので、情報の共有も図りたいです。

溝江 翼 理事



経歴

- 平成24年4月
・就農
- 平成25年8月
・青年部入部
- 平成29年8月
・青年部役員に就任



青年部園地視察で盟友と話す溝江理事

今まで青年部やわい化研究会など下部組織にお世話になってきて、改めてJAの大切さを感じています。理事になって、その分を返せるように努めていきます。青年部代表としては、部長や部員の意見を吸い上げて理事会へ発信するのと併せて、JAがどのように動いているかなど、理事会での情報を若い人たちに伝えていきたいです。コミュニケーションを円滑にすることで、より「強い農協」にしたいです。

人事異動

(令和4年10月1日付)

- 再編対策課兼審査課 課長
成田 幸仁
- 総務課 課長
石岡 直幸
- 湯口支所 支所長兼購買課長
蝦名 修一
- 農業振興課 課長補佐
田中 裕滋

